



又吉 貢 議員



SDGS未来都市 について

質 サンゴの村づくり計画の取り組みと効果について

答 企画課長（喜久山 隆）

2018年にサンゴの村づくりに向けた行動計画を策定しており、2020年に改定しています。活動内容に記載して、おおむね取組まれています。村民が自分事としてこれだけ取組んでいるか、把握できていません。

質 サンゴの植え付け毎年行っているその育成状況は

答 農林水産課長（宮平 寛）

サンゴの植え付け、2つの方法があります。岩盤に植付ける方法とびび建て方式、これは令和2年末現在約1万3千本、サンゴの森創成事業が2千本、コロナ感染症対策事業として3千4百本、サンゴの日イベントで1千50

本、おおむね生存率は7割程度

質 2種類の植え方のうち、どちらが育成率いいののか。

答 農林水産課長（宮平 寛）

養殖のほうが高い状況、植え付けに関して、特に村南部地域はあまり思わしくない。

質 岩に直接穴をあけてやる方法と、鉄筋でやる方法、育成率は同じですか。

答 農林水産課長（宮平 寛）

鉄筋を打ち込んだの養殖、100%だと聞いている、それ以外は7割程度

男女共同参画行動計画 ナビープランについて

質 成果と課題について。

答 総務課長（山城 雅人）

一次計画が平成22年に終了し、しばらく経過していることから村民アンケートや取り組み状況の課題確認を行い今後の方向性を策定したところ、成果は37項目の86施策に取り組んできた、おおむね予定どおりの成果が得られた、2次計画は具体的な数値目標を令和7年度まで上げるなどとして、女性が社会のあらゆる分野における活動に参加する機会の確保に努めたい。

質 庁舎内に管理職がいません、まずは自分たちのところから直していかないと波及しない。

答 総務課長（山城 雅人）

一次計画の中では、女性職員登用推進及び人材育成として、意識啓発と積極的意思を持つ人事の育成に努めるとしており、二次計画では、目標数値を定めたいうえで、成果達成に向けて取り組みたい。

質 男女共同参画の影響で、女性だけのところもありますか

答 総務課長（山城 雅人）

偏った運営の仕方は施策を進めていくうえでちよっと厳しいところがあります。本計画の中で、あらゆる場で男女がお互いで考える機会が設けられるような施策が必要になる。

人事評価制度について

質 現在の状況を伺う。

答 総務課長（山城 雅人）

昨年より本格運用結果に基づき処遇反映も重要なことですが、1年間の職務目標を定め、その後年度末に自己評価を行った結果に基づき課長が面談評価結果を伝えることになっています。効率的な行政事務が行われている。

質 勤勉手当反映されていない、職員やる気を起こすためにも対価で支払う方法をとっていただきたい

答 総務課長（山城 雅人）

評価の中で勤勉手当の点数で反映させていくか、当局だけで決められなく労働組合と話し合いながら数値化しているところ。



質 5歳から11歳の児童のコロナ感染による重篤者数、入院児童数は

答 健康保険課長（新里 勝弘）

重篤者等の情報は入っていません。関連した情報等を勘案すると、重篤とか、入院された方はないと推測しています。

質 接種案内は、希望者だけに接種券を送付し、「義務ではありません」という文言を明記し、QRコードを掲載でメリット、デメリットを伝える方法の採用は考えていないか

答 健康保険課長（新里 勝弘）

接種券はウェブ等で接種希望者を募ります。接種希望者のみに発送する方法を取りたい。接種券に、議員が言うQRコードと、政府のホームページにリンクするQRコードを掲載し、広報にも掲載して情報提供を行っていきたい。

質 陳情4号、子供たちへのコロナワクチン接種の停止を求める要望書は確認できたか。

答 健康保険課長（新里 勝弘）

要望書は、当局でも提出されています。主な内容としては安全性、有効性が確立するまで未成年への接種の中止ということになっています。ほかにも小児ワクチンについて意見が寄せられています。



安里 周作 議員



万座毛環境整備について

質 万座毛環境整備は、年々具体的にあって前進が見られます。そこで令和3年度の整備委員会の回数と議事内容の進捗状況は。

答 社会教育課長（長浜 健一）

委員会の開催は1回で、県担当職員を含め、現地視察を行い、課題の洗い出しを行っています。

質 アダンと芝生の外来種除去の答弁の対応は。

答 社会教育課長（長浜 健一）

アダンの繁茂は、県と共通認識を持っています。整備検討委員の意見も踏まえ、県と継続して協議を行いたい。外来種除去について、継続して万座毛整備検討委員会で検討したい。



現在の万座毛

教育行政について

質 授業の充実が次世代を担う子供の育成に重要と考えるがその政策は

答 学校教育課長（仲村 泰弘）

学力向上の取組は、授業力向上のための施策や、地域や家庭との連携も行いほかに12の事業を実施しています。次世代を担う子供たちの育成に重要な事業の取組は学校、地域、家庭、役場が連携し、体験学習を含め、授業改善に取り組み、子供たちに興味関心を持

児童生徒への ワクチン接種について

質 ガードレールも検討します。どこに必要かPTAとか小学校に確認し、設置場所を検討し、ガードレール以外もできるものがないかを考えたい。

答 建設課長（屋良 朝也）

質 具体的な処置、対応は。

恩納小学校等と安全対策について調整を行って、地域の方々の協力も得ながら、対策を考えていきたい。

答 建設課長（屋良 朝也）

質 児童の安全確保の施策、担保はあるのか。

北部振興事業の採択に向けて事業を進めています。ホテルの建設と重なるもので、今後調整したい。

答 企画課長（喜久山 隆）

質 令和2年9月定例会で恩納小学校沿いの勢高道路整備事業目的に対し、「児童の安全確保のため整備が必要と考える」との答弁に対する令和4年度の対応は。

たせ、課題解決に必要な思考力・判断力・表現力等を育み、主体的に取り組む態度を養い、個性を生かし、協働を促す教育の充実に努めています。